CT26.CL25

305353

□要

□明

CT26.CL25□胞株は、BALB/cマウス由来の化学的に誘導された未分化結腸癌である親 CT26□胞株から誘導されたマウス結腸癌モデルである。 CT26.CL25は、β-ガラクトシダーゼ（β-gal）タンパク質を発現するように遺伝子改変されており、腫瘍免疫学と免疫療法、特に腫瘍関連抗原（ TAAs）を研究するための優れたモデルとなっている。この改変により、β-galをネオアンチゲンとして標的とした特異的な免疫学的研究が可能となり、腫瘍免疫回避のメカニズムに関する研究や、がんワクチンや養子□胞療法の開発が容易になる。CT26.CL25は、腫瘍関連抗原を負荷した樹状 □胞（DC）の使用など、免疫応答や免疫療法の有効性を調べるための前臨床モデルで使用されてきた。gp70のようなレトロウイルス抗原に由来するペプチドをパルスした DCを用いた免疫戦略が、強固な抗腫瘍免疫応答を惹起することが研究で示されている。実験モデルでは、 gp70に特異的なCD8+□胞傷害性Tリンパ球（CTL）の活性化が観察され、この □胞株が免疫療法アプローチの試験に有用であることが示された。しかしながら、このようなペプチドを負荷した DCによる免疫化には限界があり、特に確立された転移の治療においては、予防的免疫応答を治療効果に結びつけることの難しさが浮き彫りになった。

さらに、CT26.CL25は、免疫チェックポイント阻害剤やがんワクチンの使用など、複合免疫療法アプローチの有効性を検証する研究にもしばしば使用されている。例えば、CT26.CL25の免疫原性□胞死（ICD）の誘導が抗腫瘍免疫応答の増強に極めて重要である場合、免疫チェックポイント阻害剤と組み合わせたメトロノミック化学療法の影響を評価した研究がある。これらの研究により、免疫チェックポイントを標的とすることで、化学療法との相乗効果により腫瘍拒絶率を高め、長期的な免疫学的記憶を確立できることが示された。

ティッシュ	コロン
病気	腺癌

同義語

- CT26-clone 25

分類

生物	マウス
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	GMO-S1

GMOのステータスに関する詳細

GMO-S1: This murine colon carcinoma cell line (CT26.CL25) contains a retroviral vector encoding lacZ and Tn5-neo, enabling β-galactosidase expression and neomycin resistance. The construct is stably integrated into CT26 cells. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	線維芽□胞
腫瘍形成性	はい、BALB/cマウスで

識別子

引用

CT26.CL25（Cytion カタログ番号 305353）

NCBI 納税者番号	10090
セロサウルス	CVCL_7255

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

抗原発現

H-2d

変異プロファイル

遺伝子欠失：Cdkn2a、ホモ接合体；変異：Kras ′ p.Gly12Asp (c.35G>A)、ホモ接合体

製品

発現遺伝子：βガラクトシダーゼ（β-gal）、H-2D

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBS ′ 1% NEAA ′ 0.4 mg/mL G418を添加し、2.5 g/Lグルコースと10 mM HEPESを加える。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

寄付者

品種／亜種	BALB/c
ドナーの年齢	特定せず

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB